

(社)地盤工学会関東支部



JGS Kanto

# Newsletter

Kanto Branch of Japanese Geotechnical Society

## 「かの山 かの川」

関東支部副支部長 太田 秀樹

「うさぎ追いし かの山 小ぶな釣りし かの川」と歌いだし、  
「山はあおき ふるさと 水は清き ふるさと」で歌い終わる。



どなたでもご存知の、懐かしい文部省唱歌です。高野辰之作詞・岡野貞一作曲の故郷(ふるさと)ですが、ここに歌われている山や川は一般的な山河ではなく、故郷の**あの山**であり、故郷の**あの川**であります。

地盤工学会に関東支部が生まれて、3年たちました。その3年のあいだに、関東支部群馬グループは、「群馬の地盤」(調査から設計・施工まで - コラムも語る群馬あれこれ - )を書き上げられました。本年4月25日に関東支部から第1版が発行されたばかりで、目下好評発売中(3000円)ですが、故郷の**あの山・あの川**を思い入れ深く書き込んだ本です。みなさまも、よろしければ、如何でしょうか。

編集委員長を務められた樋口邦弘さんの「不断の努力と熱意の賜物」(石原研而先生による序)であり、「群馬の自叙伝」(川西寛さんによる序)といわれる「群馬の地盤」は、執筆された皆様方の息遣いが感じられるような本で、技術的側面のみならず「地盤工学と地域の自然および地域社会との関係にまで踏み込んだ記述がなされて」(群馬グループリーダー 鶴飼恵三先生によるまえがき)います。

少し長いですが、川西寛さんが書いていらっしゃる序を紹介しましょう。それによれば「群馬の地盤」は、「普段は地下深くに眠って見えない県内各地の特徴的な地質・活断層・火山活動及び地盤の特性をわかりやすく述べるとともに、それが眠りを覚まし我々が遭遇した時のその地盤が見せる特有の表情や思いもかけない性質、またそれと格闘した技術者の苦労や対策を取りまとめて」いる本です。

地盤工学にかかわる技術者でなければ気がつかない視点から、じつに斬新な切り口で故郷の**あの山・あの川**が描かれています。たとえば、1ページ目に「群馬の気候」が出てくるなど、私は意表をつかれました。

故郷の**あの山・あの川**を書こうという案は、群馬グループ以外の方々も考えておられたらしく、本年6月7日に「香川の地盤」発刊記念講演会を開催するとのご案内が、四国支部・香川県地盤工学研究会からメールで送られてきております。

「これまで当研究会会員が蓄積してきた香川の地盤を対象とした調査研究情報や、多くの開発工事に伴う調査・施工データをとりまとめて、このたび「香川の地盤」を発刊することとなりました」と案内状に書いてありますから、発売されているのなら、ぜひ買って読んでみたいと思っております。

こんな本がたくさん出てくると楽しいナと、私は心待ちにいたしております。

## 「退任挨拶」

副支部長（兼会員サービスグループ幹事長、支部強化委員会委員）  
 瀬古 一郎（関東地質調査業協会・前理事長）

関東支部の発足から3年間、石原支部長のもとで副支部長（兼会員サービスグループ幹事長、支部強化委員）を務めさせて頂きました。

この間、会員サービスグループ活動では、支部設立以前から行ってきた企画や事業を幹部の方々のご努力によって、さらに大きく伸ばすことができました。小職はといえば逆に皆さんに引っ張って頂いているような感じもありましたが、微力でしたが少しはお役に立てたのかなと思います。支部強化活動では地質調査業協会関係や個人的知り合いなどを通じて、法人会員増強を多少はお手伝いできたと思っています。そうした中で、県グループと各県地質調査業協会との連携が深まったことは大変ありがたいことでした。

関東支部の総会后、5月10日に開催された関東地質調査業協会の総会で、田矢新理事長に交替いたしました。今後は一人の会員の立場から支部活動を応援し、行事などに参加していきたいと思っております。この3年間の支部活動を通して今までより以上に学会を身近に感じられるようになりました。皆様には大変お世話になり、心より御礼を申し上げます。次第です。



## 特別講演会「東京のじばん話 ようこそ東京」

茨城県グループ リーダー幹事  
 橋本 則之（株）不動テトラ）

平成 19 年 6 月 27 日 17 時～19 時において、地盤工学会地下大会議室にて標記の特別講演会が開催されました。ご講演は清水恵助先生（元東京都港湾局、元九州工業大学、現在：「三宅島委員会」委員長）によって行われました。

会告では「関東圏外から東京地区へ転勤、赴任、配属された建設関係の技術者、また、関東地区の学生の方々を対象に東京地区の地盤の概要についてご講演して頂きます。」とさせて頂きましたが、実際の参加者はベテランの技術者の方にもたくさんご参加頂き、68 名と会場がほぼ満席となる大変な盛会でした。

ご講演は、まずトピックスとして渋谷



写真 清水先生による講演状況

のガス爆発事故についてご説明いただき、その後テキストとして使用しました「東京の地盤」の概要説明、七号地層・関東ローム層などの key word についてご説明頂きました。特に清水先生の東京都港湾局時代のエピソードを交えてご説明いただき、若手の技術者にも非常に分かりやすく、ベテラン技術者の方にも満足いただけるご講演内容であったと思います。

最後になりましたが、貴重な講演会を実施していただきました清水恵助先生に対し深く御礼申し上げます。

## 「お茶の水女子大附属中学校」出張講座開催報告

企画総務グループ 幹事  
高橋 一紀

地盤工学会関東支部では、当学会の存在を広く社会へアピールするために、毎年中学校・高校から出張講座の開催校を募集してまいりました。本年は、去る1月29日にお茶の水女子大附属中学校（ご担当は理科教諭の前川哲也先生）において、出張講座を行いましたので、ご紹介いたします。

講師は東京大学生産技術研究所の桑野玲子先生にお願いし、「豪雨時の土砂災害」をテーマとした授業を実施して頂きました。

本講座は、同中学校独自のカリキュラムとして年2回実施されている、理科関連の選択教科の授業として開催されました。授業は45分×2コマで行われ、2,3年生の男女約30人が受講しました。その内訳は、男女比がほぼ1:1（同校の男女比は1:2で女生徒が多い）で、2年生が過半数を占めていました。

授業はプロジェクターを用いて行われ、地盤工学の役割、土の基本的な性質、土砂災害と対策の事例などをイラストや写真を豊富に映し出し、わかりやすく説明されました。これを生徒さんたちが熱心にメモをとる姿がとくに印象的でした。各コマの終わり頃には、グループに分かれて、土の強さが何によって決まるかを体験する実験と液状化の仕組みが実感できる実験を行いました。実験に成功すると、各所で歓声があがるほどの熱中ぶりでした。講義中もいくつかの質問が出されて、生徒さんたちが興味を持って受講している様子がうかがえました。



写真 - 1 出張講座の様子



写真 - 2 出張講座の様子

これらの実験や授業は、中学校のお二人の先生、父兄1名が見学されていました。担当の前川先生は、授業の進行をサポートして頂いたほか、ご自身も実験にも参加され、授業風景を写真に収めておられました。

このように出張講座は、楽しく時間通りに、滞りなく終了することが出来ました。

数日後、前川先生を通じて授業を受けた生徒さんたち全員の感想文を頂きました。それによれば、「土に隙間があるとは知らなかった」「地盤に興味をもったので、自分でも調べてみたい」「ガラスの粒で土の強さや弱さをみる実験がわかりやすく、おもしろかった」などの実りある感想が多く寄せられていました。

地盤工学会関東支部としましては、今後も中学校など学校教育への協力を継続的に行ってまいりますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今回の講師を快くお引き受けくださり、授業の準備等にお骨折り頂いた桑野先生に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

## 「危ない住宅地盤の真相」

会員サービスグループ 幹事  
田中 剛（武蔵工業大学）

平成19年4月20日（金）18:00～19:30にJGS会館地下大会議室において第38回アフター5談話会が開催された。話題提供者に株式会社日本住宅保証検査機構の大和真一氏をお迎えし、「危ない住宅地盤の真相」という内容で講演していただきました。参加者は約70名でした。談話内容は、主に大和氏が実務で携わっている、住宅地における地盤災害を分かりやすく説明していただきました。また、講演の最後には、大和氏が撮影した海外の遺跡における地盤被害写真などもご紹介いただきました。



写真 談話会の様子

最後になりましたが、講演の依頼を快く引き受けていただきました大和氏に深く御礼申し上げます。

## 「斜面工事における斜面崩壊～崩壊事例から学ぶ」

会員サービスグループ 幹事  
橋爪秀夫((株)ジオデザイン)

平成 19 年 5 月 15 日 18:00～19:30 において、地盤工学会地下大会議室にて標記の講演会が開催されました。ご講演は独立行政法人労働安全衛生総合研究所、産業安全研究所建設安全研究グループの伊藤和也氏によって行われました。参加者は、太田秀樹関東支部副支部長はじめ、41 名と盛会でした。伊藤氏は若手研究者であり当研究所に勤務して数年ですが、多くの斜面災害に立ち会われております。普段見ることができない斜面災害の現場写真や、過去の災害事例の統計調査結果を基に、斜面災害が発生し易い項目について非常にわかりやすく講演していただきました。特に、災害事例(失敗学)から学ぶ必要性を説いておりました。



写真 講演会の様子

最後になりましたが、貴重な談話会を実施していただきました伊藤和也氏に対し深く御礼申し上げます。

## 講演会「『地盤技術者の英語』入門」

企画総務グループ 幹事  
栗崎夏代子(電源開発株)

去る平成 19 年 6 月 11 日に、東洋大学名誉教授赤木俊允先生による「『地盤技術者の英語』入門」



写真 - 1 講演会の様子



写真 - 2 講演会の様子

講演会が行われました。出席者は 50 名と JGS 会館地下大会議室が満員になる程に盛会でした。

企画総務 G では、今年度より『地盤技術者の英語』という講習会を新規に企画することを考えており、今回はその旗揚げ企画として赤木先生にお願いし、講演会を開催しました。講演会では、総論として「英語はスポーツだ」「英作文は英借文」などの名言とともに、赤木先生ご自身の経験を交えながらの楽しいお話をいただき、技術英語については「地盤技術者のための英語入門」を参考に技術英語の実例を紹介していただく楽しく納得させられる講演でした。2 時間あまりに及ぶ講演でしたが、あっという間に時間がたち、最後には、テルツアーギ先生の講義と Peck 先生によるテルツアーギ先生の紹介の生のスピーチを聞かせていただけるというサプライズもあり、感動とともに講演会が終わりました。

講演会后、今後開催予定の講習会『地盤技術者の英語』についてアンケートをさせていただきましたが、講習会に興味をもたれ、期待を寄せられている方が多いことがわかり、企画委員としてうれしく思った次第です。皆様のご意見を参考に楽しい講習会を企画したいと思いますので、『地盤技術者の英語』講習会をご期待下さい。

## 「そこで液状化が起こった理由（わけ） - 過去の液状化地点の分析 - 」

会員サービスグループ 幹事  
橋爪秀夫 ((株) ジオデザイン)

平成 19 年 8 月 3 日 (金) 15:00 ~ 18:00 において、地盤工学会大会議室にて標記の講演会が開催されました。ご講演は、独立行政法人防災科学技術研究所防災システム研究センターの若松加寿江先生によって行われました。参加者は、末岡徹地盤工学会副会長はじめ、93 名と非常に多く、地下大会議室のガラス戸を空け、別途席を用意したほどの大盛会でした。

ご講演の内容は、聴講者の興味をそそるタイトルで示された 8 つの液状化事例：

よみがえった 400 年前の川筋、  
イメージアップを狙ったネーミングには要注意、  
対岸の飛び地は赤信号、  
千曲川の名前が示す液状化の危険、  
名古屋城がもたらした液状化、  
生い立ちが違うふたつの砂地盤-砂丘と砂州、  
海岸でなぜ液状化？ 黒い砂の謎、  
丘陵地でもご用心！ の他に、

平成 19 年 7 月 16 日に発生した新潟県中越沖地震の災害調査速報，さらには新潟地震の貴重な写真の紹介、でした。

若松先生は一貫して液状化の研究に従事されておりますが、実際に被災現場を調査すると、想像もできないような地盤変状が見られることがあるそうです。

この際、被災状況から過去に調査した災害パターンに当てはめる傾向にあるのですが、地形や災害の形状などから多角的に判断すべき、とのお話が強く印象に残りました。



写真 若松先生によるご講演の様子

最後になりましたが、当日司会を務めていただきました国立和歌山工業高等専門学校の前忠先生、貴重な講演会を3時間も実施していただきました若松加寿江先生に対し深く御礼申し上げます。

## 「群馬の地盤（関東支部出版物）」

地盤工学会関東支部

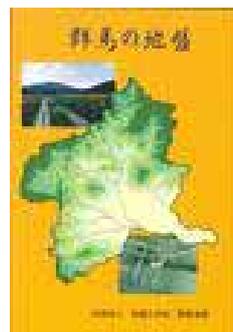
平成16年、地盤工学会関東支部が発足して以来、群馬県グループは「群馬の地盤」の発刊に向けて執筆・編集活動を続けてまいりましたが、このたび、4月25日、発刊の運びとなりました。つきましては、編集委員・執筆者が、本書の構成・内容を紹介するとともに、群馬の地盤特性、土砂災害、地盤と施工の関り、自然、風土などを、さらに詳しく紹介する講習会を開催致しました。郷土の基盤づくりは、まずは自らの足元、『地盤』を知ることから再度、始めてはいかがでしょうか！

サイズ・ページ：A5判、400ページ

発行日：2007年4月発行

価格：定価 3,000円（本体2,857円）送料 450円

会員特価 2,300円（本体2,190円）



レビュー：

第編 群馬の自然

第編 1. 軟弱地盤 2. 前橋台地と大間々扇状地 3. 火山山麓の地盤 4. 地すべり 5. 膨張性地山とトンネル 6. 災害 7. ダム

第編 群馬の話題 1. 地盤からの贈りもの 2. 群馬のあれこれ。

## JGS 会館内に打ち合わせスペースが出来ました！

JGS 会館、1階図書室の一角に打ち合わせスペースが設けられました。予約制ではありませんので、空いていれば、どなたでもご利用できます。

どうぞお気軽にご活用ください。



## 新入会特別会員の紹介

H19.7月に新たに地盤工学会に入会された特別会員1団体を以下にご紹介いたします(関東支部エリア,入会申し込み中も含む)。今後とも会員の皆様に満足いただける支部運営に努めて参りますので,未永くご支援いただきたくお願いいたします。特別会員に所属の方は,学会行事に会員資格で参加できますので,奮ってご参加ください。

・ウレテックジャパン(株)4級

### 【行事報告】

学校出張講座「豪雨時の土砂災害」:1月28日,お茶の水女子大附属中学校

第38回アフター5 談話会「危ない住宅地盤の真相」:4月20日,JGS会館

第39回アフター5「斜面工事における斜面崩壊～崩壊事例から学ぶ」:5月15日,JGS会館

特別講演会「東京のじばん話 ようこそ東京」:6月27日,JGS会館

特別講演会「そこで液状化が起こった理由(わけ) 過去の液状化地点の分析」:8月3日,JGS会館

ワークショップ「廃石膏ボードの再資源化と地盤改良への適用」:8月17日,桐生市

講演会「『群馬の地盤』発刊に伴う講習会」:8月24日,前橋市

JGS 関東(後援)セミナー、分かりやすい「地震工学における模型実験技術」:8月24日,東京建設会館

### 【行事予定】

2007年度地盤工学会栃木グループ「勉強会」:7月13日～9月21日(5回連続講座),栃木

アフター5 特別講演会「建築物の基礎と地盤の地震被害と軽減防止策」,9月26日,JGS会館

第2回学校対抗ソイルタワーコンテスト:10月6日,日本大学船橋校舎

関東支部主催:第8回技術交流会「首都高速中央環状新宿線プロジェクトにおける地盤関係の技術開発と将来展望」,10月16日,JGS会館

現場見学会(海上視察):「東京国際空港D滑走路工事」,10月26日,東京

第4回関東支部研究発表会(Geo-Kanto2007):10月31日,11月1日,群馬県市町村会館

神奈川県地盤工学セミナー:11月30日,関東学院大学

農村工学研究所見学会:11月下旬もしくは12月上旬,つくば市

第40回アフター5 談話会「(仮称)ゴムチップの地盤材料としての有効活用」:H20年1月,JGS会館

行事詳細は地盤工学会関東支部 HP をご覧ください。<http://www.jiban.or.jp/kantou/index.html>

(王 林:企画総務グループ幹事)

発行 社団法人 地盤工学会関東支部  
〒112-0011 東京都文京区千石4丁目38番2号 TEL03-3946-8670 FAX03-3946-8678  
E-mail: [jgskantou@jiban.or.jp](mailto:jgskantou@jiban.or.jp) URL: <http://www.jiban.or.jp/kantou/index.html>